

# 2022年9月社長会見

2022年9月15日

1. 営業・輸送概況
2. JR西日本グループ共通の新たなポイントサービス「WESTERポイント」誕生
3. 「スマートフォンを活用した列車動揺判定システム」による社会課題解決の取組み～CEATECへの出展～

詳細

## 1. 営業・輸送概況

### 【運輸取扱収入（速報値）】

収入ですが、8月はコロナ前の2019年比で68.6%、9月は7日までで69.1%です。

#### 運輸取扱収入（速報値）

	前年同环比			
	収入計	近距離券	中長距離券	定期券
8月	157.2% (68.6%)	150.1% (81.0%)	184.9% (61.5%)	105.3% (86.9%)
9月(9/1~7)	158.4% (69.1%)	154.6% (83.5%)	203.1% (60.3%)	103.5% (84.6%)

※実績は直営の速報値。駅などでの取扱高(消費税を含む)を示すものであり、旅行会社での発売分などを除きます。  
※ () 内は、コロナ前の2019年同环比。

### 【新幹線・在来線特急・近畿圏のご利用状況（速報値）】

ご利用状況は、山陽新幹線は、8月が2019年比で61%、9月も7日までで、同じく61%。近畿圏は、8月が82%、9月が7日までで87%です。

第一四半期までは、緩やかな回復傾向が続いていましたが、新型コロナウイルスの感染再拡大により、7月は横ばい、8月は悪化しました。

9月に入ってから、台風11号の影響もあり、厳しい状況が続いていますが、今週末と来週末の3連休の予約状況は、9月12日時点で、新幹線・在来線特急を合わせて、2019年比70%前後となっておりますが、直近の3連休は、再度台風14号の到来の可能性があるということで、心配なところであります。全般的には、徐々にではありますが、持ち直しの兆しも見えてつとあると感じています。

海外からの入国制限のさらなる緩和や、全国旅行支援の開始も検討されているようにも報道されていますので、今後、感染対策と両立しながら、経済活動が一段と回復していくことを期待しています。

## 新幹線・在来線特急・近畿圏のご利用状況（速報値）

	前年同环比			
	山陽新幹線	北陸新幹線	在来線特急	近畿圏
8月	194% (61%)	229% (63%)	194% (49%)	140% (82%)
9月(9/1~7)	221% (61%)	255% (55%)	222% (50%)	144% (87%)

※実績は速報値。近畿圏は近距離券発売実績の前年同环比。

※（）内は、コロナ前の2019年同环比。

## 2. JR西日本グループ共通の新たなポイントサービス 「WESTERポイント」誕生

### 【現在の当社グループの主なポイント・会員組織について】

現在、当社グループのうち28社で、約500万会員のお客様にご利用いただいております。「J-WESTポイント」「ICOCAポイント」「WESPOポイント」という、3種類の核となるポイントサービスを展開しています。

このたび、これらのポイントを統合し、当社グループの新たな共通ポイントサービスを、2023年春に開始することといたしました。

新しいポイントの名称は、「WESTERポイント」です。

鉄道やお買い物など、当社グループの様々なサービスで、ひとつのポイントが、「たまる」「つかえる」ようになります。

### 現在の当社グループの主なポイント・会員組織について



J-WESTポイント・ICOCAポイント・WESPOポイントを統合し、新たなポイントサービスが誕生

### サービスイメージ



当社グループの様々なサービスでひとつのポイントが「たまる」「つかえる」

※「たまる」「つかえる」どちらか一方のみのサービスもございます

## 【WESTERポイントの利用シーン】

インターネット列車予約サービス「e5489」で予約した新幹線へのご乗車、駅ナカ商業施設でのお買い物、ICOCAでの鉄道やお買い物のご利用などにより、「WESTERポイント」がたまります。

たまった「WESTERポイント」は、通常価格よりおトクにご利用いただける新幹線のきっぷなどへの交換や、当社グループホテルでのご宿泊やお食事のお支払い、お持ちのICOCAへのチャージなどに使えるようになります。

24時間365日、お一人おひとりの生活に寄り添い、「WESTERポイント」がたまるワクワク感・使える楽しさを提供してまいります。



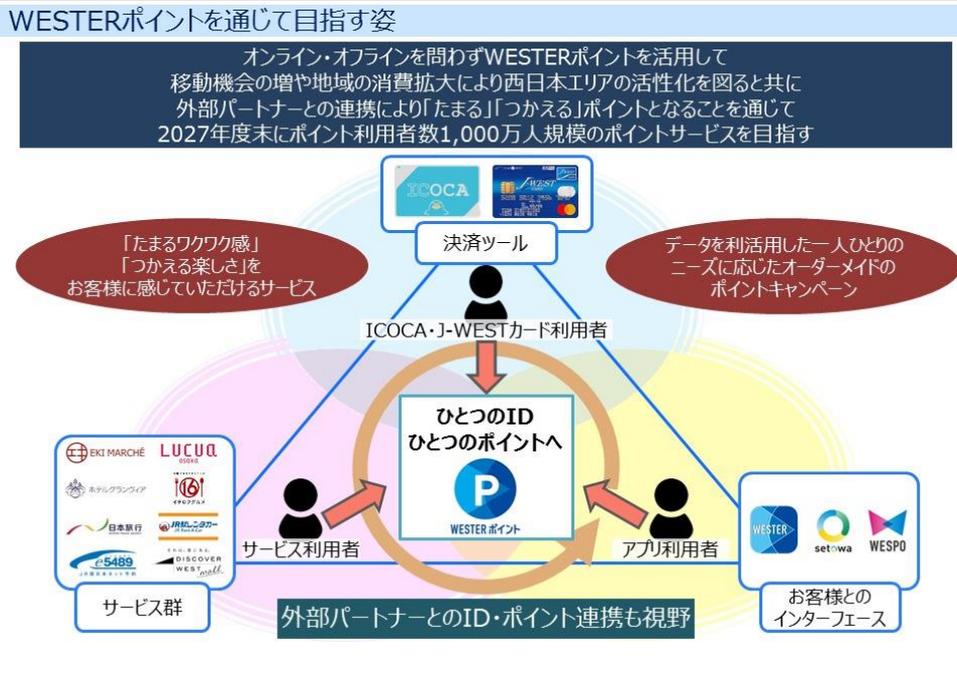
## 【WESTERポイントを通じて目指す姿】

ICOCAやJ-WESTカードといった「決済ツール」、お客様との接点となる「各種のアプリ」、オンライン・オフラインを問わず、当社グループが展開する「各サービス」の3つを「WESTERポイント」がつなげます。

「WESTERポイント」を活用して、「たまる」「つかえる」を、お客様に繰り返し体験いただけるようなサービスの提供や、データを利活用したお一人おひとりのニーズに応じたオーダーメイドのポイントキャンペーンにより、皆様の移動の機会を増やし、地域の消費拡大を図ることで、西日本エリアの活性化につながられればと思います。

2027年度末には、ポイント利用者数を、1,000万人規模に成長させ、外部パートナーとのポイント連携も視野に、広く社会に流通し、皆様の暮らしを豊かにするポイントサービスを目指します。

詳細は、サービス開始までに改めてお知らせします。



### 3. 「スマートフォンを活用した列車動揺判定システム」による 社会課題解決の取組み～CEATECへの出展～

#### 【社会課題解決に向けたデータアナリティクスのこれまでの取組み】

当社は、将来の鉄道システム構築に向けて、技術による課題解決を図るべく、オープンイノベーション活動を加速させており、当社のデータ分析・AI開発技術を活用し、社内外の課題解決に挑戦しています。

これまでの取組みとして、「自動改札機CBM」のように、実証実験に進んだ事例や、「AIを用いた行動解析」、「AI技術を活用した強風予測システム」のように、他社様と共同開発した事例もございます。

#### 【「スマートフォンを活用した列車動揺判定システム」の開発】

当社では、列車の異常挙動を監視・検知し、車両に知らせる「車両挙動監視装置」を導入しておりますが、この装置で得られる「揺れ」のデータを、線路状態の把握に活用する技術開発に取り組んできました。

この技術を広く社会に役立てて頂くべく、他の事業者様にご紹介する中で、より安価に同様の機能を達成できないものか、とのお声を複数いただきました。

そこで、社内開発で得られた知見を活用し、スマートフォン1台で、列車の揺れを計測することにより、線路状態を判定する、他社様仕様のスマホアプリを開発しています。

## 社会課題解決に向けたデータアナリティクスのこれまでの取り組み

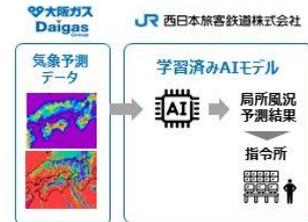
### 自動改札機故障予測AI



### AIを用いた行動解析



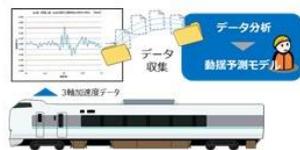
### AIを用いた強風予測



## 「スマートフォンを活用した列車動揺判定システム」の開発

### 「車両挙動監視装置※」で得られるデータを線路状態把握に活用する技術開発

※列車の異常挙動を監視・検知し、車両に載せる装置



この振動解析技術を、同様の装置を持たない事業者でも活用できないか？

他の事業者様において、スマートフォン1台でその日から導入できるスマホアプリを開発



### 【「スマートフォンを活用した列車動揺判定システム」の詳細】

このアプリでは、スマートフォンに標準的に搭載されている、「上下・左右・前後の加速度計」、「GPS取得機能」、「カメラ」を活用して、列車の振動を計測、解析することにより、著大振動の特定と、その発生位置を可視化することで、線路状態を把握することができます。

現在は、係員が徒歩で巡回したり、列車に乗って巡回したりして、線路や周辺設備のメンテナンスを行っておりますが、これにより、計測頻度や作業労力の面で、更なるメンテナンス作業の安全性と生産性の向上が期待されます。

これまで、社内外を含め、このようなシステムの導入事例はありませんが、現在、プロトタイプを10社ほどの事業者様において、試行検証いただきながら、機能の向上を図っており、来年度のリリースを予定しています。

また、今後は、振動解析による線路状態の将来予測や、AI画像解析技術を活用した線路周辺設備の異常の自動判定など、より効果的なメンテナンスにつなげることも検討しています。

この技術は、大規模な投資を必要とせず、スピーディに導入できることから、鉄道以外にも、道路のメンテナンス状態の把握や、船舶の動揺計測など、幅広く世の中で活用いただけるものと考えております。

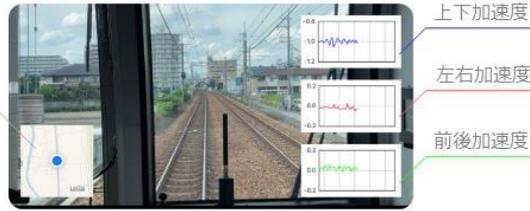
引き続き、「データ分析」や「AI開発技術」を組み合わせ、より広い分野で、社会課題の解決を図ってまいります。

## 「スマートフォンを活用した列車動揺判定システム」の詳細

列車振動の測定・解析による、著大振動の特定とその位置の可視化が可能



GPS



安全性の向上・生産性の向上

### 【CEATEC2022 への出展】

10月に幕張メッセで開催される、「CEATEC2022」へ、鉄道事業者としては初めて出展させていただきます。

今回の「列車動揺判定システム」をはじめ、当社のデータアナリティクスによる、AI・分析ソリューション活動について、広くご紹介させていただきながら、様々なビジネスパートナーとの連携を深め、事業機会の創出につなげていきたいと考えています。多くの方にご来場いただければと思います。

#### 今後の展望

技術を組合せることで**新たな価値を創出し**、さらに広い事業領域において安全性向上・生産性向上などの**社会課題解決に貢献**していきたい



#### CEATEC2022への出展



鉄道事業者の出展は **初**

列車動揺判定システムをはじめ、データアナリティクスのAI・分析ソリューションを展示予定

会期：2022年10月18日～21日  
会場：幕張メッセ  
※2022年10月1日～31日 オンライン併設



## <鉄道開業150周年>

今年、「鉄道開業150年」という節目の年となります。

1872年（明治5年）10月14日に、新橋～横浜間で、日本最初の鉄道が開業し、その2年後の1874年（明治7年）には、関西でも、大阪～神戸間で、さらに1877年（明治10年）には、京都～神戸間で鉄道が開業いたしました。

それまでの馬車や人力車といった移動手段が、蒸気機関車へ代わり、さらに内燃車や電気車、そして新幹線など、鉄道輸送は日本の発展に貢献してまいりました。

この150年間、先人の方々のご尽力により、鉄道は、主要な輸送機関としての役割を果たしてきたわけですが、この間の様々な社会的変化やニーズの変化により、取り巻く環境は大きく変化しています。

すでに、「鉄道開業150年」を記念するキャンペーンや旅行商品、きっぷなどを企画し、ご好評いただいています。

また、10月には、「鉄道の日」に関連したイベントを大阪駅で実施するほか、すでに3月以降、23万枚を発売し、ご好評をいただいている、「西日本懐鉄入場券」の第2弾として、新たに、国鉄色塗装の「特急やくも」と、今年25周年を迎えた「500系新幹線」をモチーフにした、記念きっぷを発売します。

さらに、京都鉄道博物館でも、「鉄道150周年企画展」や「ナイトミュージアム」など、たくさんの企画を予定しています。

さらに、一部の車両所などでも、久しぶりの「鉄道イベント」を計画しています。

秋の行楽シーズンでもありますので、ぜひ、鉄道のご利用を通じて、150年の歴史や社会の発展、まちの変遷なども実感していただければと思います。